

一般社団法人 ラベル循環協会 2026年度 第1回 情報共有会

日時 : 2026年2月13日 16時40分～17時40分
会議体 : 対面、Web
開催場所 : 〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1
航空会館ビジネスフォーラム 会議室502号室

TEAM
EXPO
2025

J-ECOL
Japan-Earth Conscious Labeling



留意事項

私（以下、「会員」という。）は、以下の通り、コンプライアンスを遵守することを誓約します。

第1条

1 会員は、一般社団法人ラベル循環協会が、2以上の事業者から構成される社団であり、「事業者団体」(独禁法第2条2項1号)に該当し得るものであることから、「**私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(以下、「独禁法」という。)**及び、その他の国内外の競争関係法令(以下、独禁法及びその他の国内外競争関係法令を「**すべての競争関係法令**」という。)を厳格に遵守するものであることを確認し、一般社団法人ラベル循環協会が主催するすべての活動において例外なく、一般社団法人ラベル循環協会が**すべての競争関係法令を遵守することを妨げない。**

2 一般社団法人ラベル循環協会及び会員は、一般社団法人ラベル循環協会及び会員の行動がすべての競争関係法令を遵守しているかを常に相互に確認し合うものとし、必要に応じ、知見のある第三者等からの意見聴取を行うものとする。また、一般社団法人ラベル循環協会及び会員は、以下の行為を行ってはならない。

- (1) 一定の取引分野における競争を実質的に制限すること。**
- (2) 独禁法第6条に規定する国際的協定又は国際的契約をすること。**
- (3) 一定の事業分野における現在または将来の事業者の数を制限すること。**
- (4) 構成事業者の権能又は活動を不当に制限すること。**
- (5) 事業者に不公正な取引方法に該当する行為をさせるようにすること。**

第2条

会員は、一般社団法人ラベル循環協会の正当な目的の推進のために必要な場合を除き、明示・黙示を問わず、また、理由の如何を問わず、一般社団法人ラベル循環協会及びその一切の活動を、すべての競争関係法令に反する目的または態様において、利用しない。

第3条

1 会員は、一般社団法人ラベル循環協会が主催・企画する会議・活動において、すべての競争関係法令に反するまたは反し得る目的または態様において、各会員の事業活動に関する取引、交渉、話し合いその他一切を行わない。

2 会員は、他の会員に対して、すべての競争関係法令に反するまたは反し得る目的または態様において、各会員の事業及び競争上の活動や方針について情報提供を求めない。

第4条

会員は、他の会員が供給し、または供給を受ける商品または役務の価格または数量の具体的な計画や見通し、顧客との取引や引き合いの個別具体的な内容、予定する設備投資の限度等、各構成事業者の現在または将来の事業活動における重要な競争手段に具体的に関係する内容の情報について、他の会員との間で収集・提供を行わず、かつ、会員間の情報交換を促進しない。

第5条

会員は、特定の行為や慣習に対して、各業界では慣例となっていること、第三者が実施したことがあること、及び各業界標準であることを理由に、他の正当な根拠なく、当該行為や慣習が、すべての競争関係法令に違反しないまたは違反し得ないと判断してはならない。

議題

- | | |
|---|-----------|
| ① 25年度事業報告及び決算報告 | (20分) 事務局 |
| ② 定款の変更 (会員の種別) | (10分) 事務局 |
| ③ 25年度事業計画及び予算
・実証実験 2ndステップのフィードバック | (20分) 事務局 |
| ④ その他 | (5分) 事務局 |

①2025年度事業報告並びに決算報告

◆2025年度活動状況報告（定例会）

2025年度 年間スケジュール

開催方法	通常総会（正会員）		情報共有会（正会員・賛助会員）		勉強会（正会員・賛助会員）		理事会	
	対面		ハイブリッド（対面・Web）		ハイブリッド（対面・Web）		ハイブリッド（対面・Web）	
2025年2月 2025年3月	14日 金	16時～	14日 金	25年度 第1回情報共有会 16時40分～			10日 月 24日 月	第二期 通常総会準備 16時～ 16時～
2025年4月 2025年5月 2025年6月			20日 金	25年度 第2回情報共有会 16時～	調整中	勉強会	21日 月 26日 月 23日 月	16時～ 16時～ 16時～
2025年7月 2025年8月 2025年9月					調整中	勉強会	22日 火 25日 月 24日 水	16時～ 16時～ 16時～
2025年10月 2025年11月			17日 金	25年度 第3回情報共有会 16時～			27日 月 25日 火	16時～ 16時～
25年度期末 2025年12月					調整中	勉強会	22日 月	26
26年度期初 2026年1月 2026年2月	13日 金	16時～	13日 金	26年度 第1回情報共有会 16時40分～			26日 月 9日 月	25 第

会員ページ

会員の皆様、ラベル振替協会の活動にご参加頂きありがとうございます。
こちらの会員ページでは、情報・データの共有を全て頂き、今後の活動の発展に立ててもらえればと考えて
あります。

データの使用に関しては、下記の注意事項をご確認の上、ご使用の程、宜しくお願い致します。

当ページよりダウンロード可能なファイル、資料等の無断転載・引用禁止について
ラベル振替協会(以下「協会の」といいます。)のウェブサイト(以下「サイト」といいます。)から協会のロゴや資料などをダウン
ロードする場合は、下記の注意事項が適用した場合は限り、ダウンロードすることができます。必ず下記の注意事項を遵守の上
でロゴの資料などをご活用下さい。

[注意事項を確認する](#)

[ラベル振替協会リーフレットダウンロード](#)
[ラベル振替協会がキルデータダウンロード](#)

協会概要説明資料

情報共有会:資料	総会:資料
リサイクル技術情報	議事録
配信メール(履歴)	ロゴ・配布物・その他

年度計画に基づく各会合の内容は会員ページ内の議事録をご覧ください。➡

2025年 J-ECOL活動状況

開催日	場所、手法	出席数	内容
2025年2月14日	Web、対面		通常総会、第一回情報共有会
2025年3月4日～7日	東京ビックサイト		リテールテックJAPAN出展（サトー）
2025年3月17日	香川県豊島	11名	豊島フィールドツアー
2025年4月21日	Web	72名	第一回勉強会、資源循環オープンセミナー（佐藤弁護士）
2025年5月30日	リコー環境事業開発センター	14名	第一回、リコー環境事業開発センター見学
2025年6月9日	Web		リサイクルBOXを活用した実証実験事前説明会
2025年6月20日	Web、対面		第二回情報共有会開催
2025年7月22日～9月30日	関東、中部、関西、九州	16社	1ST リサイクルBOX実証実験
2025年8月4日～29日	大阪EXPO		大阪万博、関西パビリオン京都ブースにリサイクルBOX設置
2025年8月25日	Web		第二回勉強会、会員企業5社より取り組みについて発表
2025年9月11日	コアレックス信栄	9名	古紙ヤード、家庭紙製造設備見学
2025年9月10日～12日	東京ビックサイト		国際物流総合展出展（リンテック、サトー）
2025年10月7日～10日	東京ビックサイト		JAPAN PACK 日本包装産業展（サトー）
2025年10月17日	Web、対面		第三回情報共有会開催
2025年11月7日	リコー環境事業開発センター	13名	第二回、リコー環境事業開発センター見学
2025年11月12日～14日	幕張メッセ		サステナブルマテリアル展出展（リンテック、DNPデータテクノ）
2025年12月22日	Web、対面	対面30名	第三回勉強会、古紙再生促進センター
2025年11月4日～12月26日	関東、中部、関西、九州	16社	2nd リサイクルBOXトレース管理実証実験



◆勉強会

第1回勉強会（4月21日）

一般社団法人 ラベル循環協会主催 オープンセミナー開催
「サーキュラーエコノミー社会における紙資源環境と産廃物処理法の関係」
佐藤泉弁護士事務所 佐藤先生

サーキュラーエコノミー社会における
紙資源環境と廃棄物処理法の関係

J-ECOL 資源循環セミナー

2025年4月21日

弁護士 佐藤泉

<http://satoizumilaw.com/>

3

第2回勉強会（8月25日）

5社より個社の取組について発表

ご発表頂いた企業様



株式会社リコー



ダウ・東レ株式会社



株式会社丸信



株式会社サトー



大阪シーリング印刷株式会社

第3回勉強会（12月22日）

テーマ：古紙リサイクル研修会
講師：古紙再生促進センター 吉田課長様
講義内容：

- ・古紙の回収について
- ・禁忌品とは？
- ・紙を古紙としてリサイクルする意義
- ・紙リサイクルの現状



◆施設・工場見学

豊島フィールドツアー

3月17日 香川県豊島



リコー環境事業開発センター

第1回、5月30日 静岡県御殿場

第2回、11月7日 静岡県御殿場



コアレックス信栄

9月11日 静岡県富士市



J-ECOL
Japan-Earth Conscious Labeling

◆各展示会出展



大阪万博（京都ブース）にリサイクルBOXを設置



国際物流総合展 リンテックブース



サステナブルマテリアル展 リンテックブース



JAPAN PACK サトーブース



◆実証実験

リサイクルBOX実証実験（1STステップ）

- ・実施期間 7月22日～9月30日
- ・参加企業 計16社（剥離紙排出企業10社・18ヶ所、古紙問屋6社・8ヶ所）



排出・回収企業	送付先古紙問屋	発送回数	個数	重量	荷姿
A社-1	K社-1	1回	大5箱	20kg	
A社-2	K社-1	1回	大5箱	28.9kg	
A社-3	K社-1	2回	大4箱	31kg	
B社	L社	1回	大3箱	9.5kg	
C社	M社-1	1回	大30箱 小30箱	1,090kg	
D社-1	K社-2	2回	大3箱 小7箱	151kg	
E社-1	L社	1回	大13箱 小3箱	79kg	
D社-2	N社	4回	小5箱	45.8kg	
D社-3	N社	1回	小1箱	13kg	

排出・回収企業	送付先古紙問屋	発送回数	個数	重量	荷姿
F社	M社-2	6回	小35箱	424kg	
D社-4	M社-2	4回	小21箱	290kg	
G社	M社-2	1回	大1箱	12.5kg	
H社-1	O社	1回	大1箱	15kg	
H社-2	O社	2回	大4箱	75kg	
E社-2	M社-2	3回	大5箱 小40箱	781.5kg	
I社	P社	1回	大35箱	740kg	
D社-1	P社	1回	大1箱	15kg	
J社	P社	3回	小34箱	568.4kg	

回収したリサイクルBOXの数 286箱（大110箱、小176箱） 合計 4,390kg

◆ニュースリリース、広告掲載

J-ECOL
Japan-Earth Conscious Labeling

Press Release
報道関係者 各位

2025年10月20日
一般社団法人 ラベル循環協会

**J-ECOL、参画企業によるラベル台紙（剥離紙）のトレーサビリティ実証を開始
再資源化スキームを確立し 2026年本格運用をめざす**

一般社団法人ラベル循環協会（本社：東京都港区、代表理事 高島哲也、以下「J-ECOL」）は、シール・ラベル製品に使われているラベル台紙（以下、「剥離紙」）のサイクルにおいて、回収から資源化までの流れを情報化し、トレーサビリティを確保する実証実験を2025年11月より開始いたします。

本取り組みにはラベル製造企業とラベル使用企業、古紙問屋など複数社が協力し、信頼性と継続性の高い剥離紙の再資源化スキームの確立をめざします。

背景と目的

シール・ラベルの粘着面を保護するための剥離紙は、従来はサイクルが難しく多くが焼却処分されてきました。近年は、各企業の努力により、リサイクルや削減の取り組みが行われています。しかし、サプライチェーン全体での仕組みが整っておらず、現在も廃棄処分が主流となっています。

シール・ラベル製品における構造の凡そ半分は剥離紙でできており、流通量は日本国内だけでも年間約9万3000tにおよびます。

J-ECOLはこれまで、剥離紙の回収と資源化の推進に取り組んできましたが、今後は剥離紙の回収から再資源化までのデータも可視化し、透明性あるリサイクルシステムの構築が重要と考えています。

今回の実証は、2026年からの本格運用をめざすとともに、剥離紙リサイクルの信頼性と再資源化としての価値を高める取り組みです。

- リサイクル BOX ごとに ID を付与し、回収から再資源化まで情報を記録
- ラベル製造企業・ラベル使用企業が回収した剥離紙を古紙回収企業へ引き渡し
- 古紙回収企業が品質確認・パルプ加工を実施
- 製紙企業が古紙を原料として段ボール板紙等を製造

これらのプロセスにおける古紙回収企業の手入れまでを ID 管理し、剥離紙リサイクル推進活動の成果を定量化・可視化します。

実施期間
2025年11月4日～12月26日（2か月間）

参加企業
2025年7月に実施したリサイクル BOX の運用実験では計16社（剥離紙回収企業10社、古紙問屋6社）が参加しました。本実証は、その結果を踏まえて拡張し、より実効性の高い仕組みの構築をめざします。

株式会社イワフチ、株式会社エヌピーシー、大阪シーリング印刷株式会社、KGホールディングス株式会社、寿精版印刷株式会社、株式会社サトー、ZACROS 株式会社、セキスイハイム工業株式会社、株式会社坪野谷紙業、TOPPAN インフォメティア株式会社、株式会社日誠産業、日本製紙グループ、株式会社丸信、萬誠社印刷株式会社、株式会社 LIXIL（ほか（五十音順））

今後の展望
本実証により、スモールスタートとして剥離紙リサイクルシステムを実際に確立し、剥離紙を「廃棄物から資源へ」と転換することを実現します。今後は、シール・ラベル製品のサプライチェーン全体に仕組みを定着させ、年間約9万3000tの剥離紙を確実に再資源化していく予定です。J-ECOL は、資源の有効活用と資源循環の透明性を確保する仕組みを整えることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

リサイクルBOXトレーサ管理の最終構想案
＜トレーサ管理の目的＞
・リサイクル量の把握
・ID別トレーサビリティ⇒リサイクル証明

リサイクル状況の可視化

10月20日（月）13時にPR TIMESに投稿



ラベル新聞に広告掲載



◆決算関係書類

財産目録

2025年12月31日現在 (円)

摘要	金額
〔資産の部〕	
現金	0
預金	
普通預金 Pay Pay銀行ビジネス営業部	5,109,835
資産計	5,109,835
〔負債の部〕	
未払法人税等	
法人税	
地方法人税	
事業税	
都民税 令和7年4月1日～令和8年3月31日	70,000
負債計	70,000
差引正味財産	5,039,835

貸借対照表

2025年12月31日現在 (円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
〔資産〕		〔負債〕	
現金	0	未払法人税等	70,000
普通預金	5,109,835		
定期預金	0		
		負債合計	70,000
		純資産の部	
		〔協会資本〕	
		出資金	0
		〔利益剰余金〕	
		利益準備金	0
		前期繰越利益金	2,860,387
		(当期純利益金額)	2,179,448
		利益剰余金合計	5,039,835
		純資産合計	5,039,835
資産合計	5,109,835	負債及び純資産合計	5,109,835

◆決算関係書類

損益計算書

自2025年1月1日 至2025年12月31日 (円)

費用の部		収益の部	
【事業支出】	決算	【会費収入】	決算
事業費	1,118,901	会費収入①	3,375,000
事業支出計	1,118,901	会費収入②	2,125,000
【一般管理費】		その他収入	20,000
備品消耗品費	86,900	会費収入計	5,520,000
事務用消耗品費	0	【事業外収入】	
諸会費	0	受取利息	7,892
支払手数料①	690,000	事業外収入計	7,892
支払手数料②	240,000		
支払手数料③	5,340		
支払手数料④	638,351		
支払手数料⑤	58,912		
通信費①	46,240		
通信費②	283,800		
広告宣伝費	110,000		
雑費	0		
一般管理費計	2,159,543		
税引前当期純利益金額	2,249,448		
法人税等	70,000		
当期純利益金額	2,179,448		
合計	5,527,892	合計	5,527,892

事業費	PRTIMES従量課金、視察費、通常事業費支払
支払手数料①	顧問弁護士報酬+講演謝礼
支払手数料②	事務手数料
支払手数料③	振込料、他
支払手数料④	会議室使用料、情報交換会費用、高島立替分
支払手数料⑤	司法書士費用(理事・代表理事改選)
通信費①	電話料、他。
通信費②	WEBサイト年間保守費用。
会費収入①	正会員会費。11社(期中会費1社)
会費収入②	賛助会員会費。21社(期中会費1社)
その他収入	講演料他

利益処分案

自2025年1月1日 至2025年12月31日 (円)

1、当期未処分利益金		
当期純利益金額	2,179,448	
前期繰越利益金	2,860,387	<u>5,039,835</u>
2、次期繰越利益金		
		<u>5,039,835</u>

◆監査報告

監査報告書

監事は、定款第25条(監事の職務及び権限)に定めるところにより、特定理事並びに事務局から受領した第3期財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案を監査した。監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告書を監査する権限を有していない。

1. 監査の方法の概要

決算関係書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取、その他通常取るべき方法を用いて調査した。

2. 監査結果の意見

- (1) 財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、協会の財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 剰余金処分案は、法令および定款に適合しているものと認める。

2025年2月6日

一般社団法人ラベル循環協会

監 事 田 中 祐



②定款の変更について（会員の種別）

変更目的：剥離紙の資源循環活動を幅広く普及させるために会員の枠組みを下記に変更する。

第2章 会員

（種別）

第5条 当法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団法人・財団法人法」という。）上の社員とする。

（1）正会員：当法人の目的に賛同する法人、団体または個人であって、当法人の事業に係る分科会活動に参画を希望する者。

（2）賛助会員：当法人の目的に賛同する法人、団体または個人。



第5条 当法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団法人・財団法人法」という。）上の社員とする。

（1）正会員：当法人の目的に賛同する法人、団体または個人であって、当法人の事業に係る分科会活動等に参画を希望する者。

（2）賛助会員：当法人の目的および事業に賛同し、協賛金の拠出その他の支援をもって当法人の活動を協賛する法人、団体または個人。

（3）賛同会員：当法人の目的に賛同し、ラベル台紙（剥離紙）の排出事業者であって、理事会の承認を受けた法人。ただし、賛同会員は会費を要しないものとする。

③2026年度事業計画、収支予算

◆26年度事業計画（案）

（千円）

	金額	頻度	合計	
① 全日委託金	20.0	12	240	事務委託(26年4月～27年3月)
② 顧問弁護士	55.0	12	660	佐藤泉弁護士（26年4月～27年3月）
③ 電話回線	3.8	12	46	J-ECOL専用回線
④ IDEA（年会費）	110.0	1	110	製品LCA算定におけるツール
⑤ Webサイト管理	370.0	1	370	J-ECOLWEBサイト管理
⑥ 広告宣伝費	1,000.0	1	1,000	PRTimes他メディア掲載検討
⑦ Webサイト拡張	1,000.0	1	1,000	剥離紙リサイクルポイント検索機能
⑧ 会議室	300.0	3	900	情報共有会 3回/年
⑨ セミナー謝礼	30.0	3	90	有識者を招いて勉強会を開催（3回実施）
⑩ リサイクルトレース維持費	150.0	12	1,800	
⑪ リサイクルBOX費	300.0	1	300	
⑫ PC購入	250.0	1	250	
⑬ M365	2.4	12	29	
⑭ 事務局委託費用	200.0	12	2,400	
⑮ 定款変更	100.0	1	100	
⑯ 備品（プロジェクター）	200.0	1	200	
⑰ FY25実証実験 リサイクル費	50.0	1	50	
⑱ リサイクルトレースアプリ	1,055.0	1	1,055	FY25導入済み
			合計 10,599	

◆26年度収支予算（案）

（千円）

・25年度繰越金				5,039	
・26年度会費見込み					
		会費	会員数	合計	
	正会員	300	11	3,300	☞FY25と同数
	賛助会員	100	21	2,100	☞FY25と同数
	計			5,400	
繰越金+会費見込み	合計			10,439	

引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

継続を前提として2月末に会費納付の案内を入れさせていただきますので**4月末までにご入金**をお願い致します。



リサイクルBOXトレーサ管理実証実験のフィードバック

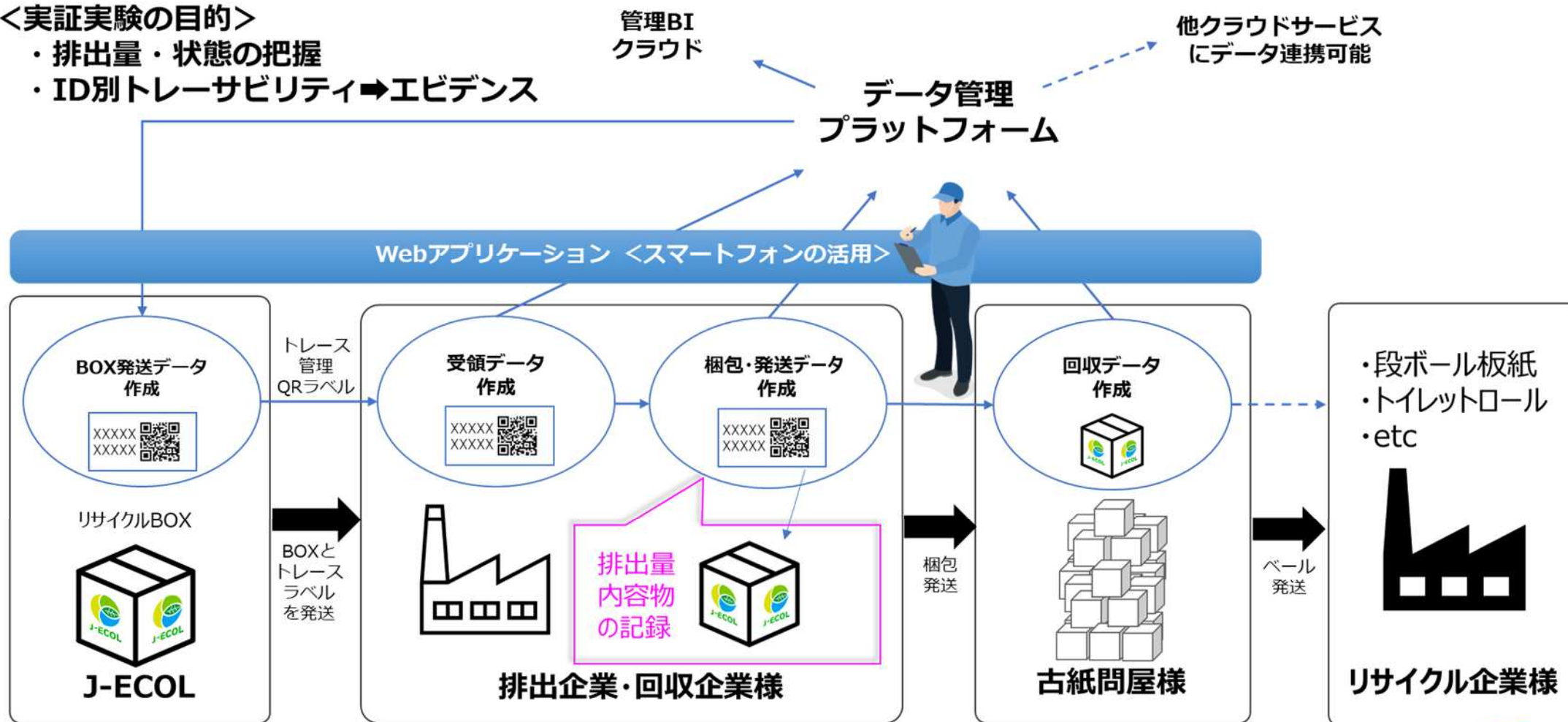
- ・実施期間 11月4日～12月26日
- ・参加企業 計16社
(剥離紙排出企業10社・16ヶ所、古紙問屋6社・8ヶ所)



リサイクルBOXトレース管理実証実験 振り返り

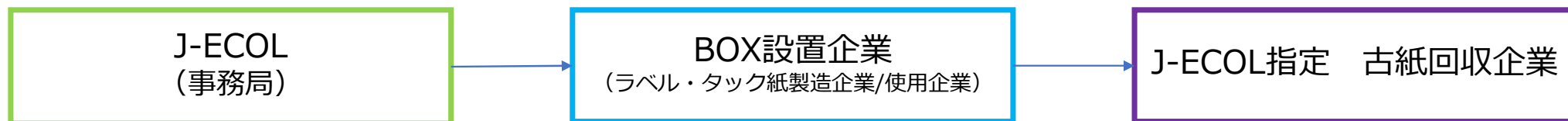
<実証実験の目的>

- ・ 排出量・状態の把握
- ・ ID別トレーサビリティ⇒エビデンス



リサイクルBOXトレース管理実証実験 振り返り

各トレースデータを**BOX ID**で繋げる事によって、BOXの発送からBOXの回収に至る**プロセスが情報化**されます。



① BOX発送

- ・データ区分（登録/取消）
- ・発送日
- ・発送先
- ・発送BOX ID

② BOX受領

- ・データ区分（登録/取消）
- ・受領日
- ・受領BOX ID



<サイズ> 単位：mm
 <目安>
 小：331×229×399……ロール向き
 大：331×451×399……シート向き
 ※シート・ロールを1箱に混在OK、紙管が分けてください。



<内容物>
 1. 形状：ロール/シート/混在
 2. 色：白/ブルー/黄/混在
 （組合せをコード化）

③ BOX梱包

- ・データ区分（登録/取消）
- ・梱包BOX ID
- ・重量（ID単位）
- ・内容物

④ BOX出荷

- ・データ区分（登録/取消）
- ・出荷日
- ・出荷先
- ・出荷BOX ID

⑤ BOX回収

- ・データ区分（登録/取消）
- ・回収日
- ・回収BOX ID



離解可能粘着紙
 <トレースIDラベル>



リサイクルBOXトレース管理実証実験 振り返り

J-ECOL 剥離紙ラベル回収トレース ダッシュボード

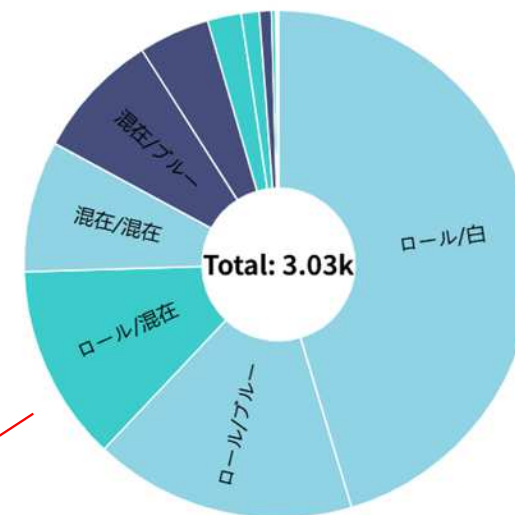
総発行数 (対象BOX数) : 384

回収BOX数 (完了BOX数) : 239

回収完了率 : 62%



内容区分別回収重量




発送日	発送元	BOX設置企業	受領日	トレース管理ID	重量 (kg)	内容物	出荷日	古紙回収企業C	受領日
2025/9/7	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/8	JEC001-JEQR-0000-0000-0026	16	11	2025/9/12	古紙回収企業C	2025/9/15
2025/9/7	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/8	JEC001-JEQR-0000-0000-0027	18	12	2025/9/20	古紙回収企業C	2025/9/22
2025/9/7	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/8	JEC001-JEQR-0000-0000-0028	15	22	2025/10/14	古紙回収企業C	2025/10/16
2025/9/7	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/8	JEC001-JEQR-0000-0000-0029	22	12	2025/10/15	古紙回収企業C	
2025/9/7	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/8	JEC001-JEQR-0000-0000-0030	25	11	2025/10/15	古紙回収企業C	
2025/9/18	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/20	JEC001-JEQR-0000-0000-0031	12	13			
2025/9/18	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/20	JEC001-JEQR-0000-0000-0032	17	21			
2025/9/20	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/25	JEC001-JEQR-0000-0000-0033					
2025/9/20	J-ECOL	BOX設置企業A	2025/9/25	JEC001-JEQR-0000-0000-0034					
2025/10/18	J-ECOL	BOX設置企業A		JEC001-JEQR-0000-0000-0035					

重量、箱数、内容区分が自動集計され、作業内容が可視化された。

リサイクルBOXトレース管理実証実験 振り返り

- ・実施期間 11月4日～12月26日
- ・参加企業 計16社（剥離紙排出企業10社・16ヶ所、古紙問屋6社・8ヶ所）

企業名	送付先古紙問屋	発送回数	個数	重量	荷姿
A社-1	K社-1	1回	大5箱	17kg	
A社-2	K社-1	3回	大18箱	133kg	
B社	L社	1回	大7箱	46kg	
C社	M社-1	1回	小30箱	415kg	
D社-1	K社-2	3回	大7箱 小4箱	102kg	
E社-1	L社	1回	大5箱 小25箱	250kg	
D社-2	N社	1回	小3箱	27kg	
D社-3	N社	1回	小1箱	15kg	

企業名	送付先古紙問屋	発送回数	個数	重量	荷姿
F社	M社-2	3回	小15箱	225kg	
D社-4	M社-2	3回	小25箱	353kg	
G社	M社-2	1回	大1箱	10kg	
H社	O社	1回	大1箱	23kg	
E社-2	M社-2	2回	小60箱	928kg	
I社	P社	1回	小5箱	93kg	
D社-5	P社	1回	大1箱	10kg	
J社	P社	1回	小26箱	304kg	

回収したリサイクルBOXの数 239箱（大45箱、小194箱）

合計 3,030kg

リサイクルBOXトレース管理実証実験 振り返り

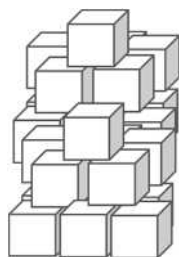
回収された剥離紙のリサイクル

ラベル排出、回収企業様



『回収された剥離紙』

古紙問屋様



『破碎・ベール加工』

製紙工場様



『段箱の中芯』



『トイレットペーパー』



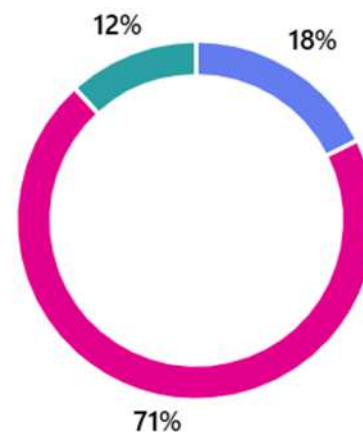
『再生紙パルプ』

皆さまが回収した剥離紙は主に段箱の中芯、トイレットペーパー、再生紙パルプの原料となり、紙の資源化に役立っております。

リサイクルBOXトレース管理実証実験 アンケート回答

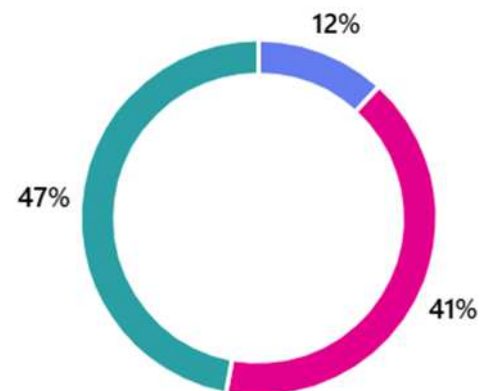
【質問1】 トレースIDアプリは使いやすかったですか？。

● 使いやすい	3
● 慣れれば問題ない	12
● 使いづらい	2



【質問2】 <オペレーションについて> QRコードのトレースラベルはどの段階でBOXに貼る運用を行いましたか？

● BOX設置時	2
● 梱包時	7
● 発送時	8

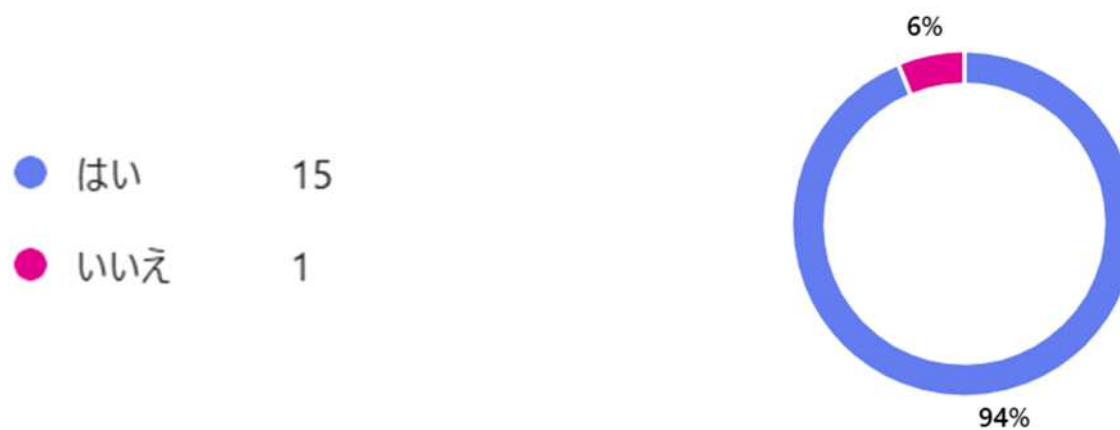


リサイクルBOXトレース管理実証実験 アンケート回答

【質問3】 <オペレーションについて> トレースラベルのQRコードは何でスキャンしましたか？



【質問4】 現場でスマートフォン活用は社内規定として許可されていますか？



リサイクルBOXトレース管理実証実験 アンケート回答

【質問5】 スマートフォンの活用でデメリットがあれば教えてください。

1. QR スキャン関連の課題

- ・ スキャン漏れが発生する
- ・ スキャン漏れが即時に判断できない
- ・ 連続でQR読み込みを行うと、登録済みか確認しづらい
- ・ PCのカメラではスキャンできなかった

2. 環境面の指摘

- ・ 担当者によっては社内支給スマートフォンを保持していない

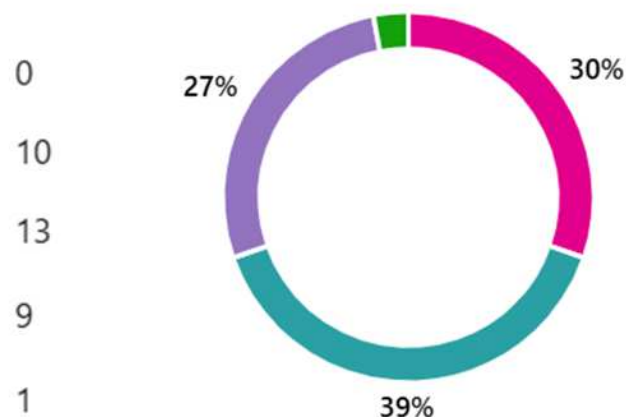
【質問6】 スマートフォン以外の端末としてふさわしいと思われるものがあれば具体的に教えて下さい。
(ない場合は「なし」)

- ・ 多数（16件中10件以上）が「なし」回答で、代替端末は特に求められていない。
- ・ 一方で、専用端末・PC・タブレット・物流端末など、具体的な代替案も挙がっている。

リサイクルBOXトレース管理実証実験 アンケート回答

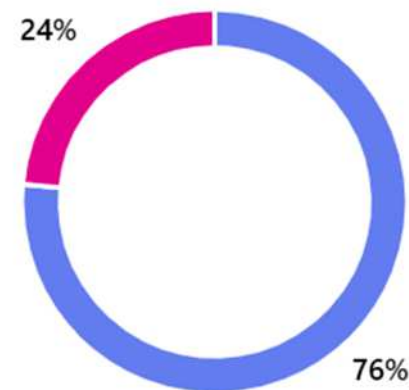
【質問7】 トレース管理データで実現できる可能性を下記に記します。ご自身の関心や期待感を教えてください。
(複数回答あり)

- 興味ない
- リサイクル証明
- 剥離紙のリサイクル率の可視化 (統計データ)
- 回収状態を正確に把握できる事で古紙として価値が上がる
→有価物へ転換
- その他



【質問8】 今後についてお伺いします。

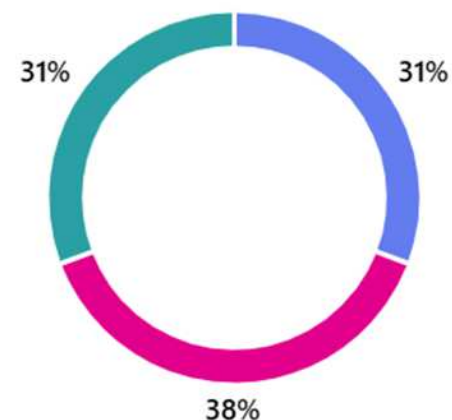
- リサイクルを継続したい 13
- しなくてもいい 4



リサイクルBOXトレース管理実証実験 アンケート回答

【質問9】 リサイクルをするなら？

- リサイクルBOX（少量向き）（BOX + 加工費で約600円/箱、別途送料） 4
- 古紙問屋と個別取引（多量向き）（費用は古紙問屋と交渉） 5
- 一度、話を聞いてみたい（事務局から連絡致します） 4



【質問10】 ご協力ありがとうございました。

実証実験における課題やJ-ECOLの運営についてご意見があればお願いします。

回収・梱包・運搬作業の負担が大きい、巻径や規定値対応など現場負荷が大きいQR読み取り工程の多さと言った実務負担に関する課題が多くあった。

また回収コスト（発送費用 / 産廃費用との比較）の重要性から古紙問屋様の受入箇所増設（近隣エリア）等運用効率における課題も指摘されました。

リサイクルBOXトレース管理実証実験 アンケート回答

主な指摘・課題

1. 回収・梱包・運搬の負担。少量BOXでのリサイクルは手間が多く、持続が難しい。
2. お客様からの回収は説明が必要、不定期・不定量、回収品の巻径規定への調整が必要、など現場負担が大きい
3. QR読み取り作業が多すぎるため、出荷時などに工程を絞るべき
4. 古紙回収業者の拠点拡充により発送費を抑えてほしい。物流端末や運搬面のコストが課題
5. 企業側は「産廃費用との比較でメリットがあるか」が重要→メリットがあれば興味を持つ企業が増える

運営改善の検討について

1. 回収作業の負担軽減（巻径規定緩和・回収頻度の調整・回収方法の簡易化）
2. QR操作の簡素化（作業ポイントの削減、連続作業の最適化）
3. 物流コストの低減（回収拠点の増設、共同回収案）
4. 導入企業への明確なメリット提示（産廃費用との比較資料の整備）
5. 廃棄数量が多い事業者への別スキーム検討（少量BOXの運用見直し）

リサイクルBOXトレース管理実証実験 今後のスケジュール

リサイクルBOXを活用した本運用計画案

本番稼働日：2026年6月より開始

実施内容	スケジュール											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
J-ECOL、リサイクラー様打ち合わせ	24日											
要件定義の取り纏め												
要件定義のレビュー												
アプリケーションソフトの改修												
アプリケーションソフトの改修レビュー												
本番稼働日					◆1日							
本運用												
情報共有会にて報告	13日			22日						20日		
理事会にて報告			20日			21日			19日			

J-ECOL、剥離紙回収実績（2024年11月～）

533トン < 760万㎡ >

(J-ECOLリサイクラー様処理数量)



④ その他) 2026年度年間スケジュール

2026年度 年間スケジュール

開催方法		通常総会（正会員） 対面	情報共有会（正会員・協賛会員） ハイブリッド（対面・Web）	勉強会（正会員・協賛会員） ハイブリッド（対面・Web）	役員スケジュール ハイブリッド（対面・Web）
26年度期初	2026年1月				26日 月 25年決算報告 16時～
	2026年2月	13日 金 16時～	13日 金 26年度 第1回情報共有会 16時40分～		9日 月 第三期 通常総会準備 16時～
	2026年3月				
	2026年4月				20日 月 理事会 16時～
	2026年5月		22日 金 26年度 第2回情報共有会 16時～	調整中 勉強会	
	2026年6月				
	2026年7月				21日 火 理事会 16時～
	2026年8月			調整中 勉強会	
	2026年9月				
	2026年10月				19日 月 理事会 16時～
	2026年11月		20日 金 26年度 第3回情報共有会 16時～	調整中 勉強会	
26年度期末	2026年12月				21日 月 26年度事業計画 16時～
27年度期初	2027年1月				25日 月 26年決算報告 16時～
	2027年2月	15日 月 16時～	15日 月 27年度 第1回情報共有会 16時40分～		8日 月 第四期 通常総会準備 16時～

タイムライン

計画を2年延長

2027年～

・ラベル循環確立

(剥離紙が当たり前再生紙の資源として扱われている状態)

2024年～

・マテリアルリサイクルの普及活動

2023年～

・一般社団法人化
・運営開始

2022年～

・組織設立 (準備団体)
・再生実証テスト
・回収実証テスト

2021年～

・運営組織設立
準備検討

✓ラベルをいつまでも安心してご使用いただく為にラベルの循環化社会を造る。

➡剥離紙の再生資源化 普及促進

- ・分別のガイドライン策定、会員による分別周知活動
- ・剥離紙リサイクルの相談
- ・リサイクラーの選定 (リサイクラーに理解を得る) ➡リサイクラーと顧客をつなぐ役割

➡リサイクル技術確立の支援

- ・再生しやすい設計
- ・再生を促すための補助

➡リサイクル状況の可視化・情報発信

- ・環境負荷の可視化➡リサイクラーとの連携
- ・普及活動における目標設定と進捗確認、情報開示

Thank you



• Webサイト



• E-mail

